Francis Fukuyama

Francis Fukuyamaは、スタンフォード大学のフリーマン・スポグリー国際研究所 (FSI) の Olivier Nomellini シニアフェロー、またFSIの民主主義開発センターとルール・オブ・ロウ (CDDRL) のモスバッカーダイレクターであり、政治科学の教授でもあります。

福山博士は開発と国際政治の問題について幅広い著書があります。彼の1992年の本、歴史の終わりとラストマンは、20カ国以上の外国版として出版となっています。彼の最新の著書 『政治秩序と政治崩壊：フランス革命から現在まで』は2014年10月に出版されました。

フランシス フクヤマは、コーネル大学で古典学の学士号を取得、その後、ハーバード大学で政治科学博士号を取得。彼は、ランド研究所研究員であり、また、米国国務省政策企画本部スタッフの一員でした。1996年から2000年までジョージメイソン大学の公共政策学部にて、オマL.とナンシーハースト公共政策の教授であり、ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院 (SAIS) 教授を経て、スタンフォード大学教授を務めています。2001年から2010年まで、ジョンズホプキンス大学先端国際研究学科ポールH.ニズースクールの国際政治経済学のバーナードL.シュワルツ教授でした。また、2001年から2004年まで大統領倫理評議会のメンバーを務めていました。

2005年に設立されたアメリカンインタレストの編集委員長である福山博士は、コネチカット大学、ドーン大学、同志社大学 (日本)、関西大学 (日本) 、オーフス大学 (デンマーク) 、パーディーランド大学院から名誉博士号を取得しています。また、彼はカーネギー国際平和基金およびグローバル開発センターの非居住者フェローです。彼は、パーディランド大学院の理事会メンバー、全国民主主義基金の理事会メンバー、そしてVolcker Allianceのメンバーです。また、アメリカ政治科学協会、外交問題評議会、および太平洋国際問題評議会のメンバーでもあります。